

広報 ぬまた

平成23年度 まちの予算特別号



共成季節保育園運動会

きらり輝くまちづくり

町政執行方針・教育行政など町の主な仕事をご紹介します！

平成23年度

一般会計予算総額

42 億円

<<6月補正後>>

これに22年度繰越明許分を合わせた額を23年度執行予算として調整

歳入

地方交付税

(46.0%) 19億4,497万円

国に納められた一部の税金から全国の市町村の規模に応じ一定の割合で、地方公共団体が等しく事務を遂行できるよう、国から町へ配分される税

国・道支出金

(12.5%) 5億2,633万円

町が行う事業のうち、国・道が公益性を認め、その事業を実施するために国から町に交付されるお金

町債

(9.3%) 3億9,190万円

建設工事など大きな事業の実施に伴う借入金

地方譲与税及び交付金

(3.1%) 1億2,930万円

- ◆地方譲与税5,800万円 ◆利子割交付金100万円
- ◆配当割交付金20万円 ◆株式等譲渡所得割交付金10万円
- ◆地方消費税交付金3,500万円 ◆ゴルフ場利用税交付金200万円
- ◆自動車取得税交付金1,200万円 ◆地方特例交付金500万円
- ◆交通安全対策特別交付金100万円
- ◆国有提供施設等所在市町村助成交付金1,500万円

町税

(7.2%) 3億480万円

町税・固定資産税など

その他収入

(7.6%) 3億2,113万円

財産収入・寄付金など

諸収入

(4.8%) 2億458万円

貸付金元利収入など

使用料及び手数料

(2.3%) 9,919万円

公営住宅使用料・ゴミ処理手数料など

繰入金

(7.2%) 3億605万円

事業を行うための基金の取り崩し（左ページ参照）

骨格予算から本予算へ

本年度は、統一地方選挙の年であったため、当初予算は経常経費を中心とした骨格予算で編成しました。選挙後、政策経費を盛り込んだ予算を『本予算』といいます。6月定例議会で可決され、いよいよその予算執行が始まります。



今住んでいる皆さんを大切にする予算

6月本予算は、子育てから、高齢者まできめ細かく整っている各種施策を継続させつつ、町民の皆さんを「応援」という目線で必要な施策は拡大し、また必要なものは新たに制度を設け予算化しました。

町の予算はどのくらい？

町の一般会計予算は、当初骨格予算で40億8,500万円でした。6月補正予算では政策的経費が盛り込まれ、1億4,325万円を追加補正しました。結果一般会計予算の総額は42億2,825万円となっています。

6月補正予算での政策的な予算は

どのくらいあるの？

補正予算額1億4,325万円のうち、政策的な予算は1億3,478万円あり、その割合は約94%を占めています（その概要は別刷で説明いたします）。

町の台所は大丈夫？

まちの借金残高は22年度末で40億8,900万円で21年度末から比較すると、約4億8,000万円減少しました。今後とも、町民の皆さんの将来負担軽減に努めてまいります。

一方、町の基金（貯金）残高は22年度末で26億2,600万円あります。そのほか、予算上に表れない「備荒資金納付金」があり、これを合算すると約31億2,300万円保有しています。しかし、今後、小学校やその他大型事業が展開されていくと、おのずから基金は減少していくことになります。

与住んでいるみなさんを大切に、
思いやり・応援予算



きらり輝く
まちづくり！

特別会計予算

17億 1,745万円

会 計 名	予算額 (6月補正後)
養護老人ホーム特別会計	2億4,007万円
特別養護老人ホーム特別会計	3億5,641万円
国民健康保険特別会計	5億1,925万円
介護保険特別会計	3億4,856万円
後期高齢者医療特別会計	4,739万円
公共下水道特別会計	2億577万円

公営企業予算

会 計 名	区 分	予算額
水道事業会計	収益的	収 入 2億2,587万円
		支 出 2億2,587万円
	資本的	収 入 323万円
		支 出 3,706万円

健全な財政運営を行っていきます

今後ともできる限り基金を保有していくため、大型建設事業の執行時期にあわせ事前に財源の確保を図るなど、財政面で町民のみなさんに不安を与えないよう、健全な財政運営に努めてまいります。

歳出

教育費 6億5,624万円

小中学校の教育の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費

職員費 6億2,177万円

職員の給与など支払う経費

公債費 6億1,330万円

町債を返済する経費

民生費 5億1,337万円

障がい者や高齢者に対する福祉の充実、保育園運営などの経費

農林水産事業費

4億7,245万円

農業の振興に要する経費、生産基盤の整備などに要する経費

土木費 3億9,018万円

道路維持改修、除排雪、公営住宅やパークゴルフ場などに係る経費

総務費 3億1,699万円

町の内部管理、税務、戸籍、選挙、統計などに要する経費

衛生費 2億2,876万円

生活環境の保全、ゴミ処理などに係る経費

消防費 1億3,688万円

火災の予防・消火や急病人の救助などの経費

商工費 7,097万円

中小企業の振興及び夜高あんどん祭りなど観光の振興などに要する経費

その他 2億734万円

議会費5,169万円 諸支出金 13,002万円
労働費2,413万円 災害復旧費 50万円
予備費 100万円

「今住んでいる皆さんを大切にする」

平成23年度町執行方針



第2回定例会 30名を超える傍聴者
一般質問などの内容は「みんなの議会（8月発刊予定）」をご覧ください。

平成23年第2回定例会（6月議会）で、金平町長が平成23年度の町制運営についての所信表明を行いました。予算特別号では、その一部の紹介とまちの主な仕事についてご紹介します。



沼田町長
Mayor

金平 嘉則
Yoshinori Kanehira

はじめに

平成23年第2回定例会の開会にあたり、町政運営に対する私の基本的な考え方について申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

私は、ここ数年、町政がこのままで良いのかという疑問を抱きながら町職員として仕事をしてまいりましたが、真の民意を汲んだ新しい流れに変えるのは今しかない、新たな町づくりに立ち上がる決意をし、この度の統一地方選挙におきまして町民の皆様の温かいご支援とご理解により、今後4年間に亘って、町政運営に携わる機会を与えてくださいましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。

過疎化と少子高齢化が進む我が町の現状を考えますと、与えられた立場の大きさ、責任の重さを心に刻み、町民の皆様の大きな期待をしっかりと受け止めながら、全力で職務に邁進しなければならぬ覚悟をより強くしているところであります。

さて、本町を取り巻く環境が厳しさを増すことが予想されますが、町民の皆さん

◆7つの基本施策

- ・資源ごみ回収方法の改善
- ・希望の持てる農業政策の確立
- ・地元で安心して買い物ができる商業振興
- ・保育所・幼稚園・小・中学校の教育環境の改善
- ・町民が安心できる医療体制の維持
- ・高齢者が住みやすい町づくり
- ・情報公開と住民との積極的対話の推進

んが安心感を持ちながら末永くこの町に住み続けていただくためには、行政の継続性に配慮しつつ、今後、様々な施策を充実させていくことが必要になってきます。

私は、町づくりの基本は行政が町民との対話と相互理解で進める必要があると考えております。町民の声が行政に反映される町づくりを最優先に進め、「今住んでいる皆さんを大切にすること」を目標に次の基本政策を掲げ、取り組んでいきます。策の推進にあたりましては、町民の皆さんと一緒に、農業、商工業そして観光のバランスが取れた、10年後20年後の沼田町の将来を見据えた、きらり輝く町づくりを進めていきます。

「個別収集」を実施します。



ごみの収集運搬については、本年4月からの北空知衛生センター組合への搬入移行を見据えて、昨年9月から資源ごみセンターを設置し、町民の皆さんの直接持ち込みにより資源ごみの対応をしてきました。

今般、町民の皆さんの利便性や負担軽減を図るため、8月1日から従来の資源ごみセンター方式に

子供たちに 夢と希望を 与える学校



加え、資源ごみ等の個別収集を実施したいと考えています。

収集の地区分けは、町内を東西に分け、収集にあたっては、資源ごみの品目を4種目にまとめ、可燃ごみと合わせて、1種類あたり月に1回の収集サイクルとして実施することとして、住民説明会等で周知を図り、住民の皆様のご理解をいただきながら早期に実施していきます。

※詳しくは「広報ぬまた7月号」をご覧ください。

沼田小学校の建設工事については、規模、建設費の見直しも視野に入れて検討してきましたが、実施設計の修正に多額の費用と時間が必要であること、工事着手が次年度以降にずれ込むことにより、東日本大震災の影響から資材価格の高騰や国の予算確保ができなくなるおそれがあることや、現校舎の老朽化や耐震基準を満たしていないことなど、保護者や学校関係者から一日も早い建設を要請されていることを考慮し、校舎の建設工事は予定通り、平成23・24年度とし、外構・グラウンド整備工事は平成24・25年度に実施したいと考えています。

農業

希望の持てる 安定した 農業経営を目指して

昨年までの本町の生産状況を振り返って見ると、2年続きの天候不順の中で水稻栽培においては、いもち病が多発し品質及び収穫量に大きく影響し、減収の要因となり、畑作についても大豆を除く作物全体が高気温などにより生育障害や病害が発生し、販売額も大きな減少となっています。

今年度から本格実施される戸別所得補償制度については、数量払に加え品質加算が行われること



から、農業経営の基本となる高品質の製品をいかに多く収穫するかが、今まで以上に農業経営上の重要な要素となっています。

特に米価については、昨年度からこれまでの市場経済に委ねた価格競争の中では、農業生産者の生活を守ることが出来ない実態を反映した、戸別所得補償制度が実施されましたが、小規模兼業農家も含めた全ての生産者を対象とした戸別所得補償制度が、かえって米価を引き下げる方向に作用し、農家経済を好転させる結果につながりませんでした。

本格実施される今年度以降、専業農家にとって制度の趣旨が生かされ、希望のもてる安定した農業経営となるよう改善を求めています。

平成23年度

まちの主な施策

農業



NEW

914万円

いもち病対策に助成します！

水稻いもち病による病害を予防することにより、米穀の品質確保と農家所得の向上を図ることを目的に、水稻いもち病予防に取り組む農業者に対し、薬剤購入費用の一部を助成します。

NEW

500万円

農業の新規参入を推進します！

(沼田町での農業新規参入希望者に研修手当等の支援)

農業経営主の高齢化、後継者不足等により農家戸数が減少している中、町内での農業新規参入を推進し『持続的農業の発展』を目指すため、新規参入希望者に最長2年間、研修手当や家賃補助等の支援を行います。

農業経営基盤を整備します。 6,614万円 (経営体育成基盤の受益者負担軽減)

圃場区画の大型化による農業機械の効率化、耕地の汎用化と農地の保全を目的とした道営経営体育成基盤整備事業を実施しています。この事業に係る受益者負担を軽減して安定的な農業経営を支援します。

円滑な農地流動化の推進を

1,015万円

(農業者負担の軽減を図り、農地の集積化を推進)

農業経営の安定化を目指し、新たに農地を取得しようとする農業者に対し一定の助成を行い、農地取得の負担軽減を図ることで、円滑に農地集積がなされるよう平成13年度の第1期対策から継続して支援を行っています。

(事業実施期間(第4期対策) 22年度から24年度)

○農業総合対策事業

- ・新時代農業経営高度化支援事業 90万円
- ・土づくり推進支援事業 120万円
- ・有害鳥獣対策事業 87万円
- ・農業生産組織育成支援事業 150万円
- 農地・水保全管理支払交付金事業 2,780万円
- 中山間地域等直接支払交付金事業 1億1,575万円

移住定住対策については、平成11年から平成22年度まで制度の適用を受けた新築住宅の実績が71件あり、定住の促進並びに地域の活性化に対して一定の効果があつたものと思われませんが、平成19年4月に施行した定住促進条例が平成23年3月末をもって失効したことから新築住宅への奨励制度を継承しつつ、中古住宅取得に関しましては今後、空き家発生が懸念されることから、町外からの転入者のみとしていた対象を町民にも拡大し、更に昨年度まで実施していた経済活性化対策支援(住宅リフォーム補助)事業についても、住民の目線に立ち、定住促進を更に継続する観点から新たな定住奨励制度に組み込むこととして、「沼田町定住促進応援条例」が開始されます。

移住 定住



拡充 移住定住対策を促進します！

1,050万円

●住宅の新築などに際して助成します！

4年間サンセット 550万円

内 容	交付金額	
①土地を購入し1年以内に住宅を新築	町内業者 150万円 町外業者 80万円	
②自己所有の住宅用地に住宅を新築	町内業者 120万円 町外業者 50万円	
③中古住宅を購入 ※⑥との重複は出来ません	購入費用の2分の1以内 限度額50万円	30万円から 50万円に増額
④融雪溝設置路線沿いに住宅を新築	150万円	上記の①又は②に加算
⑤2世帯住宅を新築	50万円	上記の①又は②に加算

●住宅リフォームに際して助成します！

4年間サンセット 500万円

⑥持ち家を町内業者により改修する場合 ※③との重複は出来ません	改修費用の4分の1以内 限度額25万円	1住宅につき1回のみ 対象工事は、工事金額が10万円以上
------------------------------------	------------------------	---------------------------------

◆詳しくは、広報おしらせ版862号（7月7日発刊）をご覧ください。

【起業家サポート事業】

100万円

北海道沼田町で社長になりませんか？

沼田に移住して1年以内に法人登記をする起業家に対して、1件100万円を限度として助成します。

◆元気な沼田発信事業

250万円

◆総合案内パンフレットを作成

142万円

271万円

わが町へ、企業誘致活動！

企業アンケートを5,000社増加し合計10,000社の道内及び首都圏企業に対し誘致企業を拡大し、活発な展開を目指します。



企業誘致については、道内の企業に対する意向調査や各方面からの情報をもとに近年農業参入への意向が非常に高いことも加味し、的を絞った企業訪問活動を積極的に展開するための所要の経費を予算計上し、職員と一丸となつて新規誘致の実現に努め、働く場の創出に向け、取り組んでいきます。

企業 誘致

商工業

近年の商工業を取り巻く環境は、多様化する消費者のニーズ、価格競争の激化及び近隣の大規模店の消費の流失等、地元商工業者へ極めて大きな影響を及ぼしており、特に近年では中心市街地の空き地や空き家が増えてきており、今後も更に増加が懸念されることから、魅力あるまちづくりを促進するため、「中心市街地活性化事業」と「21世紀ふるさと活性化支援事業」を統合し、新たな事業等を行う者に対し助成を行い、町の活性化を目指す「まちづくり活性化支援事業」をスタートさせる。また、近隣への大型店の進出に伴う購買力の流出や、人口減少に伴う商工会員の減少により、この

ままの状態では商店街の存続も懸念されることから、地元消費の減少等による厳しい経営環境を打開するため、商店街への集客をより一層向上させる気運づくりと商業者同士の連携強化等を図ることを目的に、がんばる商業者を応援する施策として、「きらり輝く商工振興事業補助金」により、商業者自らの経営努力にも期待しつつ、町内外からの誘客に結びつけるための所要の経費を予算計上しています。

【まちづくり活性化支援事業】

300万円

まちづくり活性化のために支援します！

店舗の新築や空き店舗の活用など魅力ある商店街づくりを促進する事業や地域おこしなど町民等が取り組むまちおこし事業など独創的・個性的な取り組みを誘発する事業に対して「まちづくり活性化支援事業補助金」を創設し、活力ある地域づくりを応援します。

◆中小企業特別融資貸付金

3,750万円

◆中小企業特別融資資金利子等補給

375万円

○利子補給金 1.50% ○保証料補助金 1.00%

◆きらり輝く商工振興事業補助金

75万円

雪や氷を冷房に使用し化石燃料の使用量を減らし、環境にやさしい熱源の普及を進める事業として「雪氷グリーン熱証書制度」が今年スタートし、道内から5施設が認証取得に向けて準備を進めており、その内、沼田町は4施設（ゆめつくる・しいたけ発生源）が認証される予定です。本制度は、雪氷熱のグリーン証書化として日本初の試み



「雪氷グリーン熱証書
スタートアップ事業」
68万円



であり、全国的な注目を受けており、証書販売収益や大手企業との連携の可能性と町のPRなど雪利用以外への波及効果が期待され、本制度のスムーズな利用開始と制度効果を最大限に活用し、「雪と共生するまちづくり」をより一層推進するための所要の経費を計上し、新たな冷熱エネルギーの利用拡大に向けた取り組みを進めていきます。

第35回目を迎えます「夜高あんどん祭り」については、記念DVDの作成や特別前夜祭の開催、夜高あんどん祭り公認オフィシャルショップも兼ねた観光案内所の整備や祭り本体が今後も安定的に開催する上で財源確保が重要な課題であることから、地域通貨「プレミアムコイン」の発売により商業振興とも連動させ、さらに趣向に富んだ賑わいのあるお祭りとして実行委員会、保存会及び観光協会と連携を図りながら新たな取り組みに対し、支援すべく所要の経費を予算計上しています。

また、商工会が主体となり、真夏に雪を利用し、観光事業の開発を目的に実施された「雪夏祭」に

観光



8月26・27日開催！



8月6・7日開催！

については、道内外からの参加者や観光客が訪れ、大きな効果があったところです。

今年については、昨年開催した「スノーボード大会」を柱としながらも、連盟の公認を目指す「雪合戦大会」や各大会を観戦しながら飲食を楽しむ「スノーウォールカフェ」、お土産の提供を行う「スノーウォールマルシェ」など経済産業省の支援を受けて、観光資源として成り立つかを実証する取り組みを目指しており、その実現に向けて自己資金の一部として支援をするために所要の経費を予算計上しています。

NEW

◆第35回夜高あんどん祭り記念事業 400万円

NEW

◆地域資源・地域力活用∞全国展開7'ロ'ェ外補助 150万円

◆夜高あんどん継承事業補助 590万円

◆夜高あんどんお祭り広場開設補助 40万円

◆明日萌の里ほたるの里歩くスキーの集い 50万円

◆明日萌の里フォトコンテスト事業補助 45万円

◆観光PR事業補助 250万円

【にぎわいと魅力あるお祭りを応援します！】

- 夜高あんどん祭り前夜祭の実施
- 記念DVDの作成（撮影）
- オフィシャルショップの設置
- プレミアムコインの販売



33万円

役場庁舎内掲示をわかりやすくします！

役場庁舎内の各課の案内表示や庁舎内図を設置し、わかりやすい表示をします。

役場 整備

85万円

町長室へようこそ！

町長室を開放的にし、いつでも町民と対話できるよう整備します。

わかりやすく、開放的に庁舎内を整備！

◆役場庁舎の耐震化に向けた診断を行います！

平成23年度

まちの主な施策

子育て支援策



子育て

拡充

537万円

沼田保育園をもっと利用しやすく！

『沼田保育園の保育料の階層区分を細分化！』

沼田保育園の保育料は、保育料負担を軽減するため、国の基準の30%について減額した分を町が負担をしていますが、現在の保育料を算定する基準は、所得税・市町村民税の課税状況に応じて8階層に分かれており、1階層毎の所得幅が広いと、所得にかなりの格差があっても同じ保育料となることがあり、不満に思われる方もいたことから、15階層に細分化することにより、収入格差による不満感を和らげ、適切な保険料を改定します。

NEW

410万円

がんばる高校生を応援します！

本町に住む子供たち誰もが安心して通学し、勉学に励む環境を作り、未来の沼田を担う人材育成を進めるとともに充実した子育て支援による定住促進につなげるため、高校生等の保護者に対する就学奨励金を交付することにより、子どもから高校生まで一貫した子育て環境を更に充実するために応援手当を支給します。

◆1人当たり月額5,000円支給

妊婦さんを手助け！



◆妊婦さんの一般健康診査の全費用を公費負担します！ 316万円

◆妊婦さんの一般健康診査の際にかかる交通費を定額助成します！ 67万円

各種健診や教室でもサポート！

乳児健診・1歳6ヶ月健診・フッ素塗布・歯科健診
すくすく教室・ことばの教室・幼児、学童の食育

お子さんの体を守る！



◆中学生まで医療費が無料です！ 100万円

◆インフルエンザ予防接種料金が無料です！

※1歳から中学生まで、高校生以上は1,000円自己負担

586万円

◆ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種費用を全額助成します！

※生後2か月から5歳未満の乳幼児

254万円

◆子宮頸ガン予防接種全額助成します！

※中学生から高校1年生までの女子生徒

77万円

NEW

316万円

一人で悩まずご相談下さい。

役場住民生活課に消費生活相談窓口を開設しておりますが、9月1日から深川市役所横の「働く婦人の家」にある深川市消費者センターでも沼田町民の消費生活相談の対応が出来るようになります。

相談の秘密は厳しく守られますので、一人で悩まずにご相談下さい。

パスポートの発給事務については、道からの権限移譲を受け、本年10月実施に向け平成23年度の当初予算を計上したところですが、秩父別町、北竜町、妹背牛町の3町が深川市への事務委託について、年内合意を目指して検討を開始することであるため、事務の広域化、経費節減の観点から沼田町が事務委託をした場合にかかる経費を検討し、対応を判断していきます。



平成23年度

まちの主な施策

高 齢 者

拡充

389万円

高齢者等の除雪費（屋根雪降ろし、窓透かし作業）を助成します！

高齢者世帯等の方々にとって冬季の除雪は大きな負担になっていることから、従来の玄関前の除雪費等の支援に加え、屋根雪降ろしや窓透かし作業の業者委託費用についても、別途高齢者等で非課税世帯を対象に、2分の1以内（限度額2万円）を助成します。

高齢者の生活をサポート！

福祉灯油を助成します！

149万円

高齢者世帯などに暖房用灯油代の一部を助成し、在宅福祉の向上を図っていきます。灯油代の支給額は毎月の実勢単価で支給します。

住みやすい住宅改修に助成！

介護を必要とする高齢者や身体障がい者が、暮らしやすくするための住宅改修工事を行う場合に事業費の2分の1以内80万円を限度として助成します。

安心して在宅で介護サービスを！

120万円

要介護3から5までの方で居宅サービスを毎月1種類以上利用した場合、月額5,000円が支給されます。

障がい者や難病患者へ

◆重度身体障がい者ハイヤー代助成事業 35万円

◆難病患者通院交通費助成事業 41万円

◆在宅障がい者等施設通所補助 20万円

充実した健診体制の確保！

982万円

がん総合健診、女性の1日健診やふれあい総合健診、エキノコックス健診など実施します。

高齢者
福祉

冬期間通院のための、ハイヤーチケットを交付します！

47万円

65歳以上的高齢者で、冬期間（12月～3月）町内病院への通院が困難となる方に16枚（月4枚）のハイヤーチケットを交付します。

肺炎球菌の予防接種の助成を！

50万円

死亡原因の上位にある肺炎、その多くを占める肺炎球菌を予防します（1人1回程度）。

◆対象者 66歳以上

◆自己負担 2,000円（総額8,000円）

在宅サービスの充実

463万円

社会福祉協議会・町内業者へ委託し、除雪のサービスや軽易作業、医療機関への通院の際に使用するハイヤー代金の助成など在宅福祉の向上を図ります。

豪雪などの万が一に備えて…

100万円

豪雪など特別に緊急性のある場合に備えて、沼田建設業協会と雪害協定を結んでおり、即時対応ができる体制になっています。

沼田厚生病院

沼田厚生病院を支援

700万円

運営費補助（医師確保対策）

NEW

医療機器の充実

340万円

厚生病院における健康診断等の円滑な実施と来院者等に対するサービス向上のため、医療等機器の中で経年劣化している機器の導入に対して支援します。

・多機能型パノラマ心電計

・薬袋印字プリンタ

協働

住民との 協働で進める まちづくり



住民との協働で進める町づくりの基本は、町民の声に対して耳を傾ける姿勢を常に持つことからだと考えています。そのため、町民の皆様により解りやすい形で情報を提供し、広く町民の意見を求めるための新たなシステム作りを進めるとともに各団体や自治振興協議会との対話を積極的に進めていきます。

NEW

町民のみなさんの公益活動を応援します！ 『沼田町公用車貸し出し事業』

地域住民の公益活動を支援するため、町が所有する自動車を、公務に支障のない範囲で貸し出しをおこないます。

NEW

がんばる地域を応援します！ 『地域提案型まちづくり事業』

100万円

町内会や行政区等が自らの発想やアイデアにより、地域住民生活の向上につながる事業や地域の問題解決に取り組んでいく新たな事業を展開していただこうとするものです。

交流 姉妹都市

平成13年8月、小矢部市との友好姉妹都市提携から今年で10周年を迎えることから、これを記念し、今後の一層の交流発展を願い、記念事業を実施したいと考えています。

国際交流については、今年は8月にポートハーディ地区からの訪問団が来町する予定でしたが、ポートハーディ側から東日本大震災の影響を考え、今年度の派遣を見送りたいとの申し出があったことから、ポートハーディ地区及びポートハーディ交流協会と十分協議し、今年度の受入れの中止と今後の対応について検討していきます。



NEW

小矢部市・沼田町友好姉妹都市提携10周年記念事業 100万円

総合計画 策定

我が町のまちづくりの将来像であります『ずっと『支える』もっと『はばたく』雪国の理想郷 沼田町』の実現を目指し、町民と共に新たなまちづくりを推進していくため、本定例会において沼田町総合計画の基本構想を提案するものであります。

なお、総合計画基本構想の実現に向けた実施計画については、今後秋頃までに既存事業の効果や改善点、効率性及び必要性等について事業の見直しを含め検証を行い、来年度以降の予算編成に反映させ、町民の視点に立った施策の推進に向けて取り組んでいきます。

生活環境 整備

現在の防犯灯約310基は水銀灯ランプを使用していますが、既存に比べ同等以上の明るさを確保し、長寿命で省エネを実現できるLEDランプに取り替えるため、道の「地域づくり総合交付金」を活用し、平成23年から3年間で実施してまいりたいと考えています。

このことにより、防犯灯の使用電力の削減とランプの交換費用の軽減のほか、光の波長が虫を寄せつけにくい効果が期待でき、より安全で快適な環境づくりができるものと期待しています。

本町の防災対策については、東日本大震災の教訓を踏まえ、計画の見直しを進めるとともに災害時の活動拠点となる役場庁舎及び消防庁舎の耐震診断を行い、耐震補強工事の必要性について検討を進めていきます。

町道の新設改良に要する経費

- 【補助事業】◆町道東予中央線凍害防止事業
事業年度 21～24年度 L=310m
【単独事業】◆町道田畑線実測実施設計業務委託ほか

町道の維持管理などに要する経費

- ◆町道更新2号線側溝 ◆町道更新3号線側溝
◆アイヌ沢川支障木伐採工事 ◆町道幌新1部線横断管改修工事 ◆町道田畑歩道拡幅工事 ◆仲通り街路灯省エネランプ交換

◆街路灯の維持経費 895万円

◆光ファイバー運用保守経費 382万円
(貸付料など歳入見込 275万円)

◆公営住宅の住環境整備・解体 1,216万円

【整備】

- ・緑町公営住宅屋根塗装・小屋根修繕（昭和57年建設 1棟/3棟）
- ・旭町公営住宅玄関手すり修繕
- ・ディスプレイ設置（スコレビレッジ）
- ・道営住宅灯油ドリップメーター更新 2棟36戸
- ・道営住宅水道メーター更新 2棟36戸

【解体】

- ・西町公営住宅解体工事 昭和44年建築 1棟4戸
- ・南町公営住宅解体工事 昭和43年建築 1棟5戸



桜づつみ公園に桜を植栽

238万円

今年も(株)ニトリよりエゾヤマザクラなど苗木90本を助成いただき、小学3年生により植栽しました。



◆公園の維持管理経費

2,072万円



◆町営バス運行に要する経費

915万円

◆融雪溝の管理経費、協議会への交付金

332万円

ディスプレイの設置に助成

30万円

生ごみを処理するため、衛生的で快適なキッチンライフを送れるよう、ディスプレイの設置に際し助成します。



助成額 25,000円/1件

以上、町長に就任して、最初の定例会においての町政に対する基本的な考え方と、平成23年度補正予算の概要について申し上げます。

地方を取り巻く環境が急速に変化している今日、地域資源の中における「人」の重要性が高まっています。

福祉、教育はもちろん、産業や文化における地域資源も「人」という資源があつて、初めてそれらが生きる原動力となります。

そのための職員の資質の向上を図ることは何よりも重要な課題であり、日常的な研修を充実させ、常に問題意識を持ち、町民目線での施策を考え、的確に実行する能力を有する職員の育成に努めていきます。

一方、町づくりの基本は、町民との対話と相互理解で進めることが大切であり、意見が自由に言える町づくりを進める必要があると考えています。

本年が沼田町の新たな時代への創造と挑戦の第一歩として町政運営に全力で取り組んでいく決意です。

議員各位並びに町民の皆様のご支援とご協力を重ねて心からお願い申し上げます。

「将来を担う子供たちのために…」

教育行政



教育長

The superintendent of
education

生沼 篤司

Atsushi Oinuma

◆教職員の配置

今年度も、引き続き沼田小学校に補助教諭を1名配置させていたできました。また、北海道教育委員会より沼田小学校に指導方法改善教諭1名と通級指導教室担当教諭1名の加配をいただいています。

なお、沼田中学校では特別支援学級に在籍していた2名の卒業に伴い、教職員定数2名が減となりました。また、指導方法改善教諭の加配については、学校との協議の結果、習熟度学習の導入を来年度に向けて検討することとしたため、今年度の配置は見送りととなりました。



◆沼田小学校施設整備

かねてより、準備が進められてきました新校舎の建設については、予定通り本年着工の見通しです。建設にあたっては、細部について色々と検討を要するものと思われませんが、現場で働く教職員等の意見も聞きながら、子どもたちがより学習意欲を高め、且つ、安全・安心・快適に過ごすことが出来る学校づくりを目指していきます。

なお、工事の着工に伴い、新たに堆雪スペースの確保が必要となることから、老朽化した教員住宅2棟の取り壊しに係る経費を予算計上しています。

◆学童保育について

学童保育の登録は、共働きの家庭等の増加により、6月10日現在で1年生から3年生まで46人、4年生4人の計50人となっています。

子どもたちが「ただいま」と元気な声で「こども館」に帰り、

学年の違う子どもたちが集団生活の中で様々な経験を積み重ねながら成長していく姿は、働く保護者の皆さんからも安心して預けられる施設として受け入れられています。

また、障がい児受入推進事業（指導員補助事業）を活用し、指導員1人、補助員2人の3人体制の中で、特別支援の必要な児童に対し、安全・安心な生活や遊びの指導を行っています。

なお、現在は保護者の要望に応えて月1回土曜日も開設しており、今後においても引き続き学童保育の一層の充実を図っていきたく考えています。

◆特別支援教育の充実

本年4月、特別な支援を必要とする子どもたちが幼稚園に1人、小学校に2人、入園・入学したことに伴い、特別支援教育支援員の配置をしました。

対象児は生活面の他、学習面でも授業に最後まで参加出来る様になるなど着実に成長されています。

今後とも、生活や学習上の困難を改善・克服するために、各家庭や幼稚園・小学校との連携を図りながら、支援員の協力を得て園児・児童のサポートに努めていきます。

◆地域総合型スポーツクラブ

昨年3月に「ぬまたエンジョイスポーツクラブ」が設立され、地域の総合型クラブとして認知されつつあります。

このクラブは、子どもから高齢者まで、誰でも気軽にスポーツに参加できるように組織された団体で、6月10日現在で266人の方が正会員として登録されております。

また、本年4月よりクラブマネージャー1人、アシスタントマネージャー2人が配置され、各種事業の企画・クラブ運営全般を担われており、平成23年度の各種事業も精力的に取り進めていただいているところです。

今後においても、安定したクラブ基盤の構築とともに、クラブの活動が活発化することにより、本町の社会体育事業が一層充実したところになる様、期待を寄せているところです。

◆総合教育計画等の策定

本町の教育施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的指針となる「沼田町総合教育計画」を新たに策定することとしています。

策定にあたっては、町民からも幅広く意見をいただくため、策定懇談会を設置する他、これまでも種々検討を行ってきた一貫教育についても、そのあり方、推進方策等について更に踏み込んだ検討を行うため、従来の一貫教育推進委員会に新たなワーキンググループを設置することとし、それらの設置並びに調査等に要する経費を予算計上しています。



平成23年度

主な施策

教 育

◆通学対策（スクールバス運行経費・通学費の助成） 1,377万円

◆沼田小学校学力向上補助教諭の配置 204万円

◆外国語指導助手の委託 235万円

◆総合教育計画等の策定 50万円



イベント情報

Event Information



ほたる祭り 幻想的なほたるの光

7月9日（土）～
8月7日（日）までの土・日祝日

場所 ほろしん温泉ほたる館

真夏のスノーフェスティバル 雪夏祭

8月6日（土）・7日（日）

場所 沼田式雪山センター



北海道唯一の喧嘩あんどん祭り

第35回沼田町夜高あんどん祭り

8月26日（金）・27日（土）



平成23年度 まちの予算特別号